Opinion ォピニオン 「自然農法の考え方と技術の方向性 ~その3~」

自然農法の自然観(19)

ある年の8月末、夏草が背丈ほどに伸びた川の土手 に小松菜、小カブ、べかな、カラシナ等を混播してみ ました。秋野菜は草に負けませんから11月頃には見事 に生長しました。小松菜は、「大」松菜と言っていい ほど生長しました。味も見事なものでした。

ある農業者をこの土手に案内しました。その人は「今 までこんな野菜を育てたことがない、丹誠込めた我が 家の畑はいったい何なのだろう。」とビックリしてい ました。自分の畑より自然の土手の野菜たちの方がは るかに勝っていたのです。

私たちは、自然の中で生まれ、生かされている存在 なのです。人間の知恵や科学の力で自然はどうにでも できるという考えは人間の思い上がりです。何よりも、 自然の法則にしたがっていくことを基本としなければ

(財) 自然農法国際研究開発センター理事長 天野 紀宜

なりません。そして、自然は常に変化し、成長・進化 し続けています。その自然の進化を止めたり、破壊し 退化させるのでなく、進化の方向へと働きかけなけれ ばなりません。

大自然をありのままに受け入れると同時に、その時々 に自然の機能・能力を生かし、活用していくことによ って、人間をはじめ土・作物・家畜など全ての生命が 栄え、大自然の意志のままに健康が達成されていくと いうのが自然農法の考え方なのです。

自然を尊重し、自然におのずと備わっている摂理を 規範として、それに順応していく考え方、あり方が、 自然農法に取り組んで行くための、決してぶれてはい けない基本であり、哲学なのです。

全国EM技術交流会 中部大会

中部大会 MWHR 平成21年 3月 15日(日) is:00~16:30 **あいち健康プラザ**(フラザホール)

農業と環境の2本立てで進めてきた本大会も前回で一区切り となり、今回から環境浄化を中心とした全国EM技術交流会に なりました。テーマは「きれいな地球を 子どもと孫に…環境・食 育・自給菜園」。保田茂先生による食育の講演、比嘉照夫先生 のお話し、EM活用優良事例の報告を企画しています。

- ☑ 2009年3月15日(日)13:00~16:30
- あいち健康プラザ (愛知県知多郡東浦町)
- ¥ 前売1,000円(当日1,500円)
- ? 第14回全国EM技術交流会中部大会事務局
- 052-744-3884 ※当センターHPイベント情報参照

●●●● 賛助会員募集中!

自然循環型地域社会づくり、自然農法の研究・普及など、当センターの活動 を支援していただく賛助会員を募集しています。

会費:個人会員 年額3,000円(特別会員、法人会員もあります)

会員期間:毎年4月1日より翌年3月31日まで

募集期間:随時

特典:会員の皆様には、本紙「ピュアライフ」および機関誌「自然農法」など、 当センターの活動に関する各種情報をご自宅へお送りいたします。

詳しくは、熱海事務所(総務課)またはお近くの地区普及所(下記)まで。



皆さんからいただいた お便りを紹介します。 たくさんお寄せいただき ありがとうございます。

- 自然農法フォーラムのような集会を期に、自然 農法が多くの人々に理解して頂ける方向へ行くと 思います。自給率を高め、自国でとれる食糧で生 活できるようになったら素晴らしい世の中になる のではないでしょうか! (神奈川県 W.Eさん)
- ◎「にんじんラッペ」作ってみました。生の人参 ってあまり食べる機会がなかったので、美味しく てびっくりしました。 (埼玉県 MMさん)
- ◎ じゃがいもの花が咲いた後に、小さな果実みた いな物ができた事がありますが、食べてみたらと ても美味しくなかったです。 (京都府 T.Aさん)
- ◎ 自然農法の自然観(17)を読んで、大自然に備わ っている力を人が手伝ってよりよい作物を作ると いう方向性には感心しました。しかし狭い土地で いろいろな野菜を次々と作っている私にとって、 この方法を取り入れることは可能なのだろうかと 考えてしまいました。 (兵庫県 T.Hさん)

作物を育てる源の「土」を育てるという見方ができれば、 自然は必ず私たちを導いてくれるものと思います。

■お問い合わせはこちらまで■□

拠点名	所 在 地	TEL	FAX
熱海事務所	〒413-0011 静岡県熱海市田原本町 9-1 熱海第一ビル 8F	0557-85-2001	0557-85-3156
北 海 道	〒004-0005 北海道札幌市厚別区厚別東五条 3-24	011-898-4140	011-898-9798
東 北	〒989-6221 宮城県大崎市古川大宮1-2-66	0229-23-2867	0229-23-0264
関 東	〒270-1162 千葉県我孫子市布施 2361-1	04-7184-2806	04-7184-4973
中 部	〒507-0077 岐阜県多治見市幸町 5-26-2	0572-29-4826	0572-29-4827
北陸	〒910-0021 福井県福井市乾徳 4-2-16	0776-25-7886	0776-27-3658
関 西	〒629-0134 京都府南丹市八木町西田河原條 3-1	0771-42-5772	0771-42-4864
中 国	〒719-1131 岡山県総社市中央6-9-110 エンスイビル302	0866-90-1293	0866-90-1292
四 国	〒769-0101 香川県高松市国分寺町新居 1591-3 コーポ中西101	087-874-8821	087-874-8845
九 州	〒835-0018 福岡県みやま市瀬高町高柳 Z-12	0944-63-7371	0944-63-7372
農業試験場	〒390-1401 長野県東筑摩郡波田町5632	0263-92-6800	0263-92-6808

答えと当選者 nswer

17号のこの 花な~んだ? の答えは、 「ジャガイモ」



トマトと同じナス科のジャ ガイモは、花がおわった後に ミニトマトのような緑色の実 がなることがあります。「キ タアカリ」などではよく実が 着くそうです。

当選者は下記の方です。 兵庫県 谷川 大海さん 兵庫県 西川 しず子さん 山口県 伊藤 澄子さん おめでとうございます!



自然農法通信

◇ 財団法人自然農法国際研究開発センター 普及部 〒413-0011 静岡県熱海市田原本町9-1 熱海第一ビル8F Tel: 0557-85-2001 Fax: 0557-85-3156 http://www.infrc.or.jp 発行責任者: 伊藤 明雄 2009年2月1日発行(隔月) 本紙内容の無断転載を禁じます





◆ヒント

日本で見るのはたいへん 珍しい、あるイモの花です。 今回は難しいですよ。

正解者の中から抽選で3名の方に 自然農法産の野菜をプレゼント! (写真は野菜セットの一例です)



◆応募方法

答え・氏名・年齢・性別・住所・電話番号とピュアライフへのご意見・ ご感想などをお書き添えの上、下記宛先までお送りください。

メール purelife@infrc.or.jp FAX 0557-85-3156 〒413-0011 静岡県熱海市田原本町 9-1 熱海第一ビル 8F 自然農法センター「この花な一んだ?」係

3月31日消印有効

右のQRコードをケータイのパーコードリーダーで 撮影してください。応募メールが簡単に送れます。

答えと当選者は Vol.21にて発表します。



■春作に向けて

新しい年を迎え、皆さんいかがお過ごしでしょうか。 早いものでまもなく立春。今年も菜園の時期が始ま ります。畑や苗の準備を始めた方もおられるかもし れませんね。今号は春作の開始に合わせて、びっく りジャガイモ栽培法とその開発者の三上貞子さんに スポットを当てます。合わせて実例も紹介しますので、 皆さん是非試してみてください。

今年80歳になる三上さんは、福井県福井市(旧清 水町)で自然農法を始めて10年になります。平成10 年に北陸 E M普及協会の佐野理事、当センター北陸 地区普及所の南所長の講演を聞いたのがきっかけで した。その時、自然農法と市販のキュウリのジュー スを飲み比べたところ、全く味が違うことに驚き、 EMを活用した自然農法に本物を直感しました。そ うと決めたら素直に行動する三上さん、自宅前の畑 で自然農法野菜栽培の勉強を始めると共に、一緒に 学ぶ賛同者を募り、「清水町 E M 有機の会(現在会 員80名) 」を作りました。会長として毎年先進地視 察に案内し、ご自身も学んだことを畑に取り入れる というように日々学びを積み重ねています。

食のむこう側

人物クローズアップ

らくらく不耕起でジャガイモざくざく!

■不耕起栽培との出会い

三上さんにとってもう一つの転機は、敦 賀市の樋口正夫さんとの出会いでした(樋 口さんの不耕起栽培についてはエコピュ ア53~60号に関連記事)。200坪の畑を一 人で不耕起栽培している樋口さんの畑を 見て、起こさなくていいなら私にもでき ると思った三上さんはさらに自然農法の 野菜栽培に打ち込みたいと一念発起、「10 年間!85歳まで続ける」とご主人にお願 いし、5年前に400坪の田んぼを埋め立て て畑にしてもらいました。10俵とれる田 んぼを埋めてしまった三上さんを町の人 は笑いましたが、それまでに積み上げて きた技術で最初のジャガイモ栽培を成功 させ、収穫の時には「20年くらい作りこ んだ畑みたいだな」と言わしめたほどで



マルチの下にゴロゴロとなっている

三上さんが出荷している Vマートの「ふる里農園」コーナー

三上さんの畑で立派に育つ野菜たち ▶

■ ジャガイモ栽培へのこだわり

ところで最初にジャガイモを作ったのには、 三上さんのジャガイモに対するこだわりが あります。それは遡ること20年、自宅前の 畑でどうしてもあばたのジャガイモしかで きないので、最初から高い畝を立ててその 上に浅く芋を植え、マルチを敷いて育てる 方法を考案し、普通の土寄せをする方法と 比較実験しました。すると、土寄せの手間 もいらず、草取りもせずに立派に育ちました。 しかも収穫の時、マルチをめくると土の上 にゴロゴロと絹の肌のようなきれいなジャ ガイモが採れたのです。普通に育てると何 回も土寄せをしなければならず、深いとこ ろにできるジャガイモを掘り出すのは大変 です(収穫の時に鍬がジャガイモに刺さっ てしまった経験は多くの人がお持ちなので はないかと思います)。その差は歴然で、 その感動は新聞の投書欄にも掲載されまし たが、当時、誰もができっこないと、全く





秋ジャガを収穫する三上さん

1幅120cm、高さ20cmのうねを立て、 半分に切った種イモを写真のよう に3列交互に置きます(埋めません)。

品種はキタアカリ。(3月7日)

- ②イモとイモの間にお椀一杯分のE MボカシⅡ型を置きます。この後、 イモが隠れる程度にもみ殻か土
- ③丁寧にマルチを張って植え付け作 業は完了です。
- 4約10日後、ジャガイモから芽が出 てマルチを持ち上げるようになっ たら、はさみでマルチに十文字 (1cm)に切り込みを入れ、穴から 芽を外に出し、穴をふさぐように 芽の回りに土をのせます。
- 《一つのイモから芽を2本出し、そ れ以外はマルチの上から折ります。 タイミングが重要です。芽の出る 頃はこまめにチェックします。



■収穫まで手間いらず! 三上式 ジャガイモのゴロゴロ植え

芽が出れば、あとは土寄せいらずでジャガイモが**ゴロゴロ**とれる**植え**方を紹介します!







【写真提供:NPO環境浄化を進める会・岐阜(2008年)】



⑤順調に生育すればこのようになり、収穫まで 土寄せ作業などは不要です。(5月27日)



⑥いよいよ収穫です。まずは地 ⑦マルチの下にはゴロゴロ 上部を刈ります。そしてマルチとジャガイモが! をはがすと・・・。(6月20日)





⑧あとは手で軽く掘り起こして、集めるだけ、 イモを傷つける心配もありません。 34mのうねで220kgもとれました!

反応はありませんでした。しかし、それま で一人積み重ねてきた三上さんの技術は、 5年前に出会った不耕起栽培とマッチして 初年度から見事な成果をあげたのでした。

その後も数人の友人だけが実施していま したが、平成18年北陸EM普及協会の会報 で取り上げられたのをきっかけに、昨年2 月の京都大会では環境・菜園分科会で紹介 されるなど、現在では「教えてほしい」と の声が後を絶たず、町内の人からも植え方 の実演を頼まれるほど注目されています。

■ 地元スーパーへの出荷で生き甲斐を

三上さんは自然農法を始めた当初から、 地元スーパー「Vマート」の「ふる里農園」 コーナーに野菜を出荷しています。現在、鎌・ 平ぐわ・はさみ・噴霧器・移植ごてだけを 使った不耕起栽培で育てる野菜は年間30品目。 その中から週2回、8品目ずつを出荷し続 けています。

出荷実績を積み重ね、最初は端の方にあ ったコーナーも今では入り口正面の一番目 立つ場所に設置されるようになりました。 特に三上さんの野菜は他よりも高い値段が 付けられているにもかかわらず、その価値 を認め、信頼してくれる人たちによって買 い支えられ、いつも完売です。三上さんの 出荷日を選んで買いに来てくれる人たちも 出てきました。

三上さんは「自分でいろいろ工夫してや っていますが、誰でもない自然が教えてく れて本当にいい野菜が育ちます。今は『三 上さんのところの野菜はおいしく、安心し て食べられる』と信頼して待っていてくれ ている人たちの期待に応え続けていくこと が今の一番の生き甲斐です。私くらいの年 代だと寝たきりの方もたくさんおられるが、 その中で毎日畑に出て、生き甲斐を持って 過ごせるのは幸せだと思います」と語ります。 80歳になった今でも1日6時間は畑に出 ている三上さん。自然と向き合いながら生 き甲斐を持って取り組む姿に、第二の人生 の一つの答えを見た気がしました。

大根のえびあんかけ

とろとろの大根でほっこりと

■材料(4人分)

大根 1/2本
米のとぎ汁 ・・・・・・・・・ 適量
えび 5匹
チンゲンサイ ・・・・・・・・ 1株
だし汁 250cc
生姜のしぼり汁 1かけ分
水溶き片栗粉 ・・・・・・・ 適量

■作り方

- ①大根を2~3cmの厚さに輪切りにし て皮を厚めにむき、米のとぎ汁を入 れた鍋で竹串がすっと通るくらいま で下ゆでする。
- ②えびの殻をむいて背わたを取り、 1 cmくらいの大きさに切って塩と酒 を各少々(分量外)まぶしておく。
- ③チンゲンサイは軽く塩ゆでしておく。
- ④鍋にだし汁と Aと①の大根を入れ、 弱火~中火でじっくりと煮含める。
- ⑤大根が煮えたら、鍋から取り出して 器に盛る。



■調味料 A 酒 ······ 大さじ1 みりん …… 大さじ1 薄口しょうゆ ・・・・・・ 大さじ1/2 塩 …… 小さじ1/3

- ⑥煮汁にえびを入れ、火が通ったら生 姜のしぼり汁と水溶き片栗粉を加え、 とろみを付ける。
- ⑦大根の上にチンゲンサイを盛り付け、 ⑥のあんをかければできあがり。

■point

生姜を加えたあんかけで体が温まるので、寒い季節にぴったりです。 彩りの野菜には、茹でた大根の葉や刻みねぎなどお好きなものでどうぞ。

奈良県奈良市 乾 充子さん 提供

自然農法で育成した 品種を紹介します



鹿児島県の在来種で、暑さや乾燥に強いのが 特徴です。6月まきで8月下旬には収穫でき、 よく茂るので、夏の雑草を抑える効果も期待 できます。小豆に似た豆を収穫して、赤飯な どでいただきます。

自然農法育成 信州高菜 小袋 (4ml) 200円

自然農法育成

ササゲ

鹿児島在来

小袋 (40ml) 300円

紫色で肉厚のパリパリした葉が特 徴のタカナで、辛みがあって漬け 物に適しています。9月まきで、 大きくなってきた頃に寒さにあた ると旨み・辛みがのってきます。

自然農法交配 キュウリ バテシラズ3号

小袋(20粒)500円

自然農法キュウリの中で「上 高地」と並んで人気のある バテシラズシリーズの新品 種です。

自然農法品種の特徴である 長期間収穫できるスタミナ を確保しながら、初期の収 量性を改善しました。

子ヅルはもちろん、親ヅル にも実が着きやすいのが特 徴です。また、早まきから 遅まきまで幅広い作型に適 し、うどんこ病・べと病に 強く、アブラムシもつきに くいので初めての方にもお すすめです。





自然農法の種子に関するお問い合わせ・カタログ請求 お申し込みは、**研究部育種課(0263-92-6800**)まで。 自然農法の種子の頒布期間は1月~9月末です。